



2023年3月期 第3四半期 決算説明会

2023年2月1日
BIPROGY株式会社



2023年3月期 第3四半期累計 連結経営成績

- ✓ システムサービスの収益拡大により、販管費の増加分をカバーし営業増益
- ✓ 受注はシステムサービスおよびアウトソーシングが順調に拡大

(単位:億円)

	2022年3月期 3Q(4-12月)	2023年3月期 3Q(4-12月)	前年同期比	
売上収益	2,178	2,300	+121 (+5.6%)	(売上収益)
売上総利益	584	617	+33 (+5.6%)	DX関連を中心としたシステムサービス案件が着実に拡大し増収。
販管費	△397	△424	△26 (+6.7%)	(営業利益)
その他の収益・費用等	2	4	+2	販管費は増加したものの、増収およびサービスの収益性向上などによる売上総利益の増加が上回り、営業利益は増益。
営業利益	188	196	+8 (+4.5%)	(当期利益)
(営業利益率)	(8.6%)	(8.5%)	(△0.1pt)	営業増益となった一方で、金融収益の減少等により当期利益は若干の減益。
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	136	136	△1 (△0.5%)	
調整後営業利益*	186	193	+7 (+3.5%)	
(調整後営業利益率)	(8.6%)	(8.4%)	(△0.2pt)	
受注高	2,162	2,286	+125 (+5.8%)	(受注高・受注残高)
受注残高	2,407	2,503	+97 (+4.0%)	受注高はシステムサービス、アウトソーシングが順調に拡大し前年同期比で増加。受注残高の年度内売上予定分も着実な積み上がり。
(内、年度内売上予定分)	667	714	+47 (+7.1%)	

*調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販管費及び一般管理費

まずはじめに2023年3月期 第3四半期の決算概要についてご説明します。

資料の1ページをご覧ください。

第3四半期の売上収益は、デジタルトランスフォーメーション関連案件を中心としたシステムサービスが引き続き伸長したことにより、前年同期比121億円増収の2,300億円となりました。

利益面では、販管費が社内基幹システムの刷新などにより増加したものの、増収およびサービスの収益性向上などの効果により、売上総利益の増益が上回り営業利益は前年同期比8億円増益の196億円となりました。

当期利益につきましては、営業増益となった一方で、金融収益が前年同期比で減少したことなどにより、1億円の減益となる136億円の着地となりました。

なお、調整後営業利益は7億円増益の193億円、調整後営業利益率は8.4%となっております。

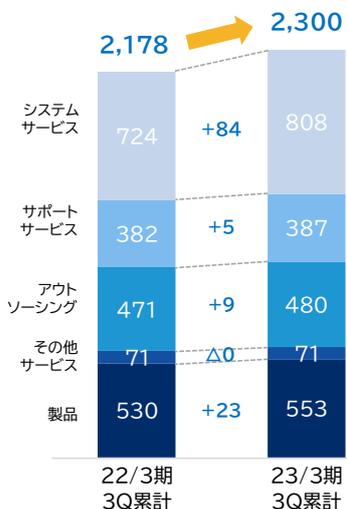
受注高につきましては、引き続きシステムサービスが順調に推移していることや、アウトソーシング案件が着実に積み上がっていることなどから、受注高、受注残高ともに拡大しております。

2023年3月期 第3四半期累計 セグメント別の状況

(単位:億円)

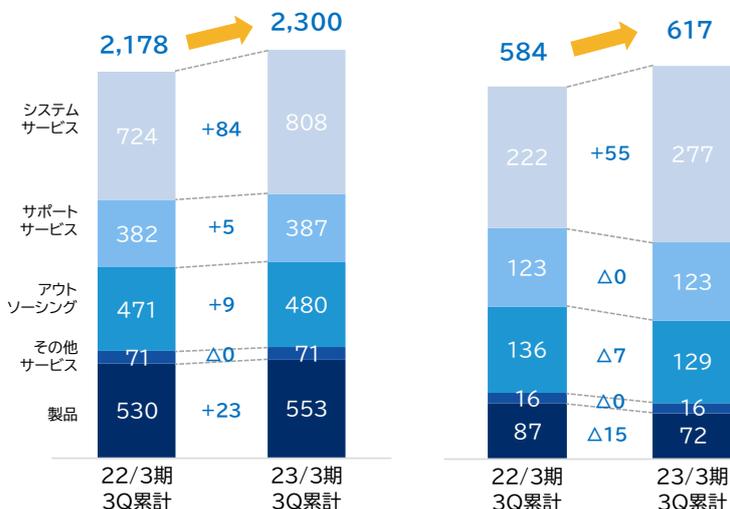
売上収益

+121
(+5.6%)



売上総利益

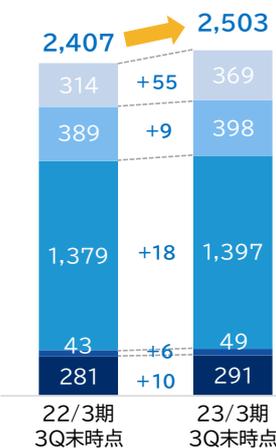
+33
(+5.6%)



【参考】

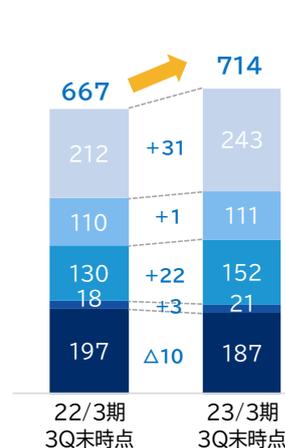
受注残高 (合計)

+97
(+4.0%)



受注残高 (年度内売上予定分)

+47
(+7.1%)



続きまして、セグメント別の状況についてご説明いたします。
資料の2ページをご覧ください。

まず、売上収益、売上総利益については、
システムサービスは、サービス業、金融機関などのお客様向けのビジネスが、引き続き堅調に拡大し、増収増益となりました。

アウトソーシングは、金融機関向けやEC事業者向けのプラットフォームサービスの採用拡大などにより
売上収益が着実に積み上がっております。

受注残高は、システムサービスの受注が堅調に積み上がっていることに加え、
アウトソーシングにおける長期案件の計上などにより、前年同期末比で増加となりました。
年度内売上予定分につきましても、システムサービス、アウトソーシングを中心に順調に積み上がっております。

2023年3月期 第3四半期累計 アウトソーシングの状況

【アウトソーシング 売上収益】

(単位:億円)

	2022年3月期 3Q(4-12月)	2023年3月期 3Q(4-12月)	前年同期比
運用受託型	371	365	△6
企業DX型	53	63	+10
サービス型(事業創出型)	47	52	+5
売上収益 合計	471	480	+9

【アウトソーシング 受注残高】

(単位:億円)

	2022年3月期 3Q末	2023年3月期 3Q末	前年同期末比
受注残高	1,379	1,397	+18
(内、年度内売上予定分)	130	152	+22

(企業DX型アウトソーシング)

- ✓ 2022年1月より稼働開始した地域金融機関向け利用型勘定系サービス「OptBAE(オプトベイ)」において、10月より新たに複数の信用金庫での本番稼働が開始。
- ✓ パブリッククラウドのフルバンキングシステム「BankVision on Azure」の2行目の稼働が2022年10月より開始。安定稼働を受け、金融機関からの注目度は高い。
- ✓ エネルギー管理関連サービス(Enabilityシリーズ)の利用が着実に増加。

(サービス型(事業創出型)アウトソーシング)

- ✓ EC向けプラットフォームサービス「DIGITAL' ATELIER(デジタラトリエ)」の新規稼働に向け導入サービスを提供中。さらなる新規ユーザー獲得に向けセールスを強化。

続きまして、アウトソーシングビジネスの状況についてご説明します。

資料の3ページをご覧ください。

アウトソーシングビジネスにおいては、引き続き「企業DX型」、「サービス型(事業創出型)」ビジネスが着実に拡大しております。

「企業DX型」では、地域金融機関のDX化、地域経済活性化を支援する基幹系プラットフォームサービスが順調に推移しており、利用型勘定系サービスである「OptBAE(オプトベイ)」では、2022年10月に新たに2つの信用金庫で稼働を開始いたしました。また、パブリッククラウドのフルバンキングシステム「BankVision on Azure」につきましても、2022年10月より2行目のお客様の稼働がスタートしており、「企業DX型」ビジネスの収益拡大に貢献しております。

今後の拡大を見込むエネルギー領域では、小売電気事業者向けクラウドサービスの利用が150万IDに到達するなど、継続的に増加しております。

「サービス型(事業創出型)」では、EC向けプラットフォームサービス「DIGITAL' ATELIER(デジタラトリエ)」において、現在、2社のお客様のECサイトにて稼働を開始しておりますが、今期および来期に新たにローンチ予定のお客様向けの適用サービスにつきましても順調に進捗しております。大手事業者のサービス利用へのシフトを推進するサービスとして、引き合いも非常に強いことから、さらなる新規ユーザーの獲得を目指してまいります。

2023年3月期 通期業績予想

✓ 第3四半期は想定線で推移。通期業績予想は期初公表値から変更なし

(単位:億円)

	2022年3月期 通期実績	2023年3月期 通期予想	前期比	
売上収益	3,176	3,300	+124	(+3.9%)
営業利益	274	290	+16	(+5.7%)
(営業利益率)	(8.6%)	(8.8%)	(+0.2pt)	
親会社の所有者に帰属する 当期利益	205	200	△5	(△2.4%)
調整後営業利益*	267	290	+23	(+8.7%)
(調整後営業利益率)	(8.4%)	(8.8%)	(+0.4pt)	

*調整後営業利益 = 売上収益 - 売上原価 - 販売費及び一般管理費

続きまして、2023年3月期の通期業績予想についてご説明いたします。

資料の4ページをご覧ください。

通期予想は、期初公表予想値から変更はございません。

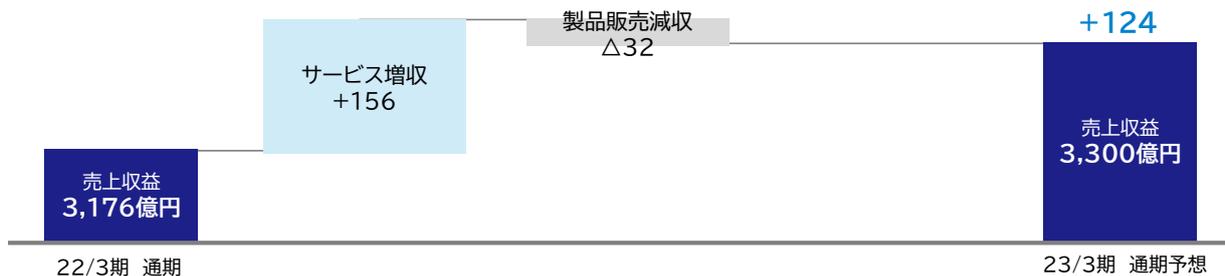
お客様のデジタルトランスフォーメーションに対する投資意欲は高い状況が継続しており、引き続き収益性改善への取り組みも強化していくことから、期初見通し数値である、売上収益3,300億円、営業利益290億円、当期利益200億円を据え置いております。なお、調整後営業利益は290億円の見通しとしております。

決算概要につきましては以上です。

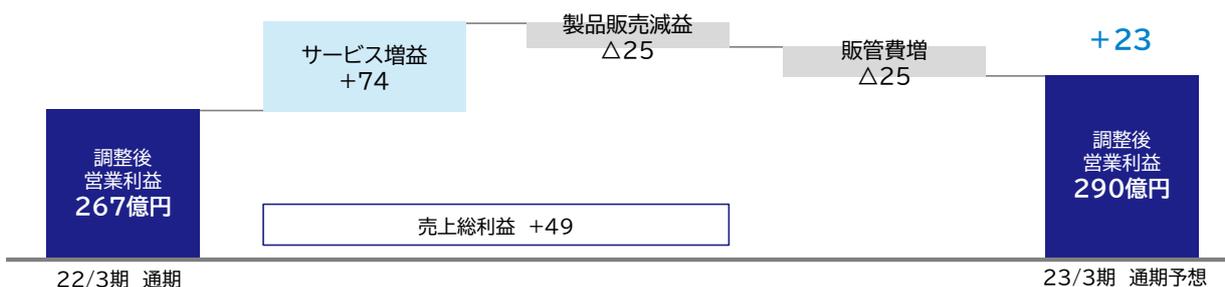
(参考) 2023年3月期 通期業績予想 増減分解

(単位:億円)

【売上収益の増減分解】



【調整後営業利益の増減分解】



本資料に記載の会社名、商品名および商標は、各社の商標または登録商標です。

(注意)
本資料における将来予想に関する記述は、現時点での入手可能な情報による判断および仮定に基づいております。実際の結果は、リスクや不確定要素の変動および経済情勢等の変化により、予想と異なる可能性があります。また、これらの情報は、今後予告なしに変更されることがあります。本資料は投資判断のご参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。